



課題に取り組む⑥

シリーズ～築く～

2010/10/17

● ● ● | コリント教会が抱えていた課題

- コリントはギリシャの大商業都市で知的にも物質的にも豊かな町だった
- 新しい教えであるキリストの福音に興味を持ち、多くの人が教会に集まった
- しかし、分派・性的不道徳・訴訟・不倫・偶像に供えられた肉・偶像礼拝・礼拝の混乱・聖餐の混乱・霊的賜物の混乱・復活論など、多くの課題を抱えていた

● ● ● | 聖霊の賜物 12:7-11

一人一人に“霊”の働きが現れるのは、全体の益となるためです。ある人には“霊”によって知恵の言葉、ある人には同じ“霊”によって知識の言葉が与えられ、ある人にはその同じ“霊”によって信仰、ある人にはこの唯一の“霊”によって病気をいやす力、ある人には奇跡を行う力、ある人には預言する力、ある人には霊を見分ける力、ある人には種々の異言を語る力、ある人には異言を解釈する力が与えられています。これらすべてのことは、同じ唯一の“霊”の働きであって、“霊”は望むままに、それを一人一人に分け与えてくださるのです。

● ● ● | 賜物による争い 12:21-25

目が手に向かって「お前は要らない」とは言えず、また、頭が足に向かって「お前たちは要らない」とも言えません。それどころか、体の中でほかよりも弱く見える部分が、かえって必要なのです。わたしたちは、体の中でほかよりも恰好が悪いと思われる部分を覆って、もっと恰好よくしようとし、見苦しい部分をもっと見栄えよくしようとします。見栄えのよい部分には、そうする必要はありません。神は、見劣りのする部分をいっそう引き立たせて、体を組み立てられました。それで、体に分裂が起こらず、各部分が互いに配慮し合っています。

● ● ● | 最高の道, 愛 12:31-13:3

そこで、わたしはあなたがたに最高の道を教えます。

たとえ、人々の異言、天使たちの異言を語ろうとも、**愛がなければ、わたしは騒がしいどら、やかましいシンバル。**

たとえ、預言する賜物を持ち、あらゆる神秘とあらゆる知識に通じていようとも、たとえ、山を動かすほどの完全な信仰を持っていようとも、**愛がなければ、無に等しい。**

全財産を貧しい人々のために使い尽くそうとも、誇ろうとしてわが身を死に引き渡そうとも、**愛がなければ、わたしに何の益もない。**



愛とは 13:4-7

愛は忍耐強い。愛は情け深い。

ねたまない。愛は自慢せず、高ぶらない。

礼を失せず、自分の利益を求めず、

いらだたず、恨みを抱かない。

不義を喜ばず、真実を喜ぶ。

すべてを忍び、すべてを信じ、すべてを望み、すべてに耐える。

愛とは 13:4-7

忍耐強い。情け深い。

ねたまない。自慢せず、
高ぶらない。

分派・靈的賜物の混乱

礼を失せず

礼拝の混乱・聖餐の混乱

自分の利益を求めず、いら
だたず、恨みを抱かない。

訴訟・偶像に供えられた肉・
偶像礼拝

不義を喜ばず、真実を喜ぶ。

性的不道徳・不倫・復活論

すべてを忍び、すべてを信じ、
すべてを望み、すべてに耐える。



課題を解決する鍵

「たとえば、預言する賜物を持ち、あらゆる神秘とあらゆる知識に通じていようとも、たとえば、山を動かすほどの完全な信仰を持っていようとも、**愛がなければ、無に等しい。**」